

1日目 ▼説明

▼講義「国の動向、先進事例」

尾山 清龍氏

(国立教育政策研究所社会教育実践研究センター専門調査員)
足寄少年自然の家、十勝教育局を経て、平成26年から現職。
国の動向や全国の事例について講義していただきます。

▼報告

▼事例研究

吉岡 宏高氏

(NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団理事長)
1998年から、空知の炭鉱をキーワードに見学会やイベントなど様々な活動を展開。人や地域が集積するための拠点として、岩見沢市内に「そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター」を開設。

谷川 良一氏

(NPO 法人グラウンドワーク西神楽理事)
内閣府地域活性化伝道師。また、グラウンドワーク西神楽理事として、単身高齢者向けの冬季集住事業やパークゴルフ場の運営などの事業を展開するとともに、高齢者の雇用も創出する。

▼分科会



2日目

▼分科会

▼全体会

▼シンポジウム(対談、特別講演)

「人口減少問題に対応した社会教育行政の在り方」



川北 秀人氏(対談、特別講演)

(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]CEO)
1994年にIIHOE設立。市民団体のマネジメントや、企業の社会責任(CSR)への取り組みを支援するとともに、NPO・市民団体と行政との協働の基盤づくりを進め、毎年約60の自治体で、職員や市民との合同研修を担当。

木村 愛氏(対談)

(夕張市教育委員会教育課教育係社会教育主事)
夕張市役所入庁後、広報広聴課、観光課を経て、教育委員会社会教育課で勤務。平成14年から社会教育主事として活躍。財政破綻以降は、各種市民団体を裏方として支える。

地方創生の時代。 まちづくり、担い手づくりのための 2日間。平成28年度地域生涯学習活動実践交流セミナー

1日目

2017.

2.16

木

10時から
17時まで

道民活動センタービル「かでの2・7」(札幌市)

定員:200名

2日目

2017.

2.17

金

9時30分から
15時まで

主催 北海道立生涯学習推進センター 北海道社会教育主事会協議会

参加申込 北海道立生涯学習推進センター 札幌市中央区北2条西7丁目道民活動センタービル「かでの2・7」8階
TEL 011-231-4111(内線:36-326)/ FAX 011-261-7431 E-mail:kensyu@manabi.pref.hokkaido.jp